

ブテナフィン塩酸塩スプレー

Butenafine Hydrochloride Spray

塩酸ブテナフィンスプレー

本品は定量するとき、表示量の 95.0 ~ 105.0% に対応するブテナフィン塩酸塩 ($C_{23}H_{27}N \cdot HCl$: 353.93) を含む。

製法 本品は「ブテナフィン塩酸塩」をとり、液剤の製法により製し、メカニカルポンプを装着した容器に充てんする。

確認試験 本品の表示量に従い「ブテナフィン塩酸塩」10 mg に対応する容量をとり、メタノールを加えて 200 mL とした液につき、紫外可視吸光度測定法 2.24 により吸収スペクトルを測定するとき、波長 272 ~ 276 nm, 281 ~ 285 nm, 311 ~ 315 nm 及び 316 ~ 320 nm に吸収の極大を示し、波長 289 ~ 299 nm に吸収の肩を示す。

定量法 本品のブテナフィン塩酸塩 ($C_{23}H_{27}N \cdot HCl$) 約 20 mg に対応する容量を正確に量り、メタノールを加えて正確に 50 mL とする。この液 5 mL を正確に量り、内標準溶液 4 mL を正確に加え、メタノールを加えて 25 mL とし、試料溶液とする。別に定量用ブテナフィン塩酸塩を酸化リン()を乾燥剤として 60 で 3 時間減圧乾燥し、その約 20 mg を精密に量り、メタノールに溶かし、正確に 50 mL とする。この液 5 mL を正確に量り、内標準溶液 4 mL を正確に加え、メタノールを加えて 25 mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 5 μ L につき、次の条件で液体クロマトグラフィー 2.01 により試験を行い、内標準物質のピーク面積に対するブテナフィンのピーク面積の比 Q_T 及び Q_S を求める。

ブテナフィン塩酸塩 ($C_{23}H_{27}N \cdot HCl$) の量 (mg) = $W_S \times (Q_T / Q_S)$

W_S : 定量用ブテナフィン塩酸塩の秤取量 (mg)

内標準溶液: ジフェニルのメタノール溶液 (3 2000)

試験条件

検出器: 紫外吸光光度計 (測定波長: 282 nm)

カラム: 内径 3.0 mm, 長さ 5 cm のステンレス管に 3 μ m の液体クロマトグラフィー用オクチルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度: 40 付近の一定温度

移動相: アセトニトリル/薄めた 0.5 mol/L 酢酸アンモニウム試液 (1 500) 混液 (4:1)

流量: ブテナフィンの保持時間が約 2.5 分になるように調整する。

システム適合性

システムの性能: 標準溶液 5 μ L につき、上記の条件で操作するとき、内標準物質、ブテナフィンの順に溶出し、その分離度は 6 以上である。

システムの再現性: 標準溶液 5 μ L につき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、内標準物質のピーク面積に対するブテナフィンのピーク面積の比の相対標準偏差は 1.0% 以下である。

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

9.41 試薬・試液の項に次を追加する。

ブテナフィン塩酸塩, 定量用 $C_{23}H_{27}N \cdot HCl$ [医薬品各条, 「ブテナフィン塩酸塩」]